学校番号	412

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	発展日本史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究「詳説日本史」（山川出版）						
副教材等	図説日本史通覧（帝国書院） 日本史史料（実教出版） 4 ステージ問題演習日本史Ｂ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歴史総合」「日本史探究」において学んだテーマをより深く掘り下げると同時に、古代から現代までの歴史の流れ、枠組みを概観する。「日本史探究」と同様に、学習内容・範囲も広く、進度も速いため、日々の予習・復習は欠かせない。ダイナミックな日本史の学習を通じて、今日起こっている様々な事象の背景を理解し、グローバルな視点を育ててほしい

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界と日本の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、様々な資料や情報をもとに調べまとめる。
【思考力、判断力、表現力等】
世界と日本の歴史の大きな枠組みを、多角的・多面的に考察し、現代社会の諸問題解決に向けて考察・構想する。
【学びに向かう力、人間性等】
広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての自覚を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度についての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 原始・古代	文明の黎明と国家の形成 律令国家の成立と展開 摂関政治と国風文化	a:旧石器文化から摂関政治までにおける日本列島および律令国家等歴史的事象と文化の形成や各時代の特色を理解している。 b: 先史時代から古代国家へと移行する中で、日本列人々の生活や政治文化および国際関係について多面的・多角的に考察し、まとめている。 c:日本における歴史的事象と文化の形成や原始社会や律令国家の展開について探求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	提出課題 授業態度 発問評価
2学期	第2章 中世・近世	院政と鎌倉幕府の盛衰 室町幕府の盛衰と庶民の台頭 原始古代	a: 政治主体や土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 b:政治主体の変容に着目し、中世の政治や文化の特色を諸資料から多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c: 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	提出課題 授業態度 発問評価
	第3章 近世	織豊政権と江戸幕府の成立 幕政の安定化と元禄文化 幕政改革と化政文化	a:織豊政権および江戸幕府の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 b: 織豊政権の展開と幕藩体制の確立、近世の社会とその文化の特色について、諸資料から考察し、効果的に表現している。 c:近世社会の展開について興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	提出課題 授業態度 発問評価

3学期	第4章 近現代	近代国家の成立 立憲体制の成立と大陸進出 明治時代の社会と文化 第一次世界大戦とワシントン体制 恐慌からファシズムの台頭 戦後日本と国際社会	a: 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊から近代立憲体制の樹立と戦後改革の展開などを基に、近世から近代そして現代への時代の転換を理解している。 b :近現代の日本において、歴史的事象が及ぼした影響などに着目して、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的な地位の変化などについて、諸資料から多面的・多角的に考察し、効果的に表現している。 c:近代の産業や文化の発展および国際秩序の変化など、その中で生じてきた問題への関心を高め、意欲的に考察・探究しようとしている。	小テスト	提出課題 発問評価 授業態度	提出課題 授業態度 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度